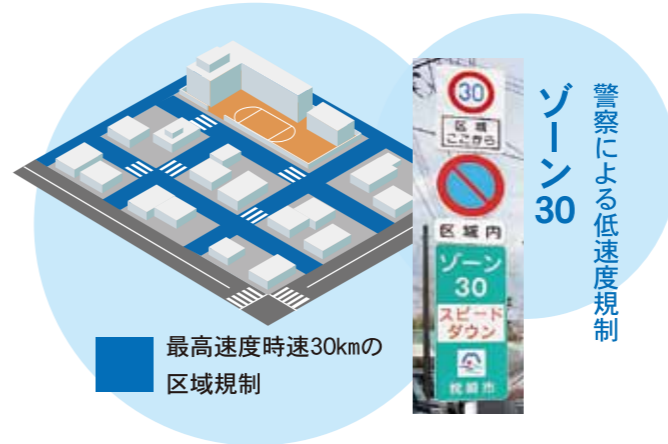


# 子どもたちの 笑顔を守るために 始めます！ゾーン30プラス

全国で多発している、児童が死傷する痛ましい事故。事故が起こると、被害者のみならず、被害者や加害者の家族までもが不幸に陥ってしまいます。そんな事故から市民の安全を守るため、本市では、生活道路の交通安全に関する新たな連携対策「ゾーン30プラス」に鹿児島県内で初めて取り組んでいます。今回の特集では、枕崎小学校および立神小学校周辺に設定される「ゾーン30プラス」について紹介します。

## ■ゾーン30プラスとは

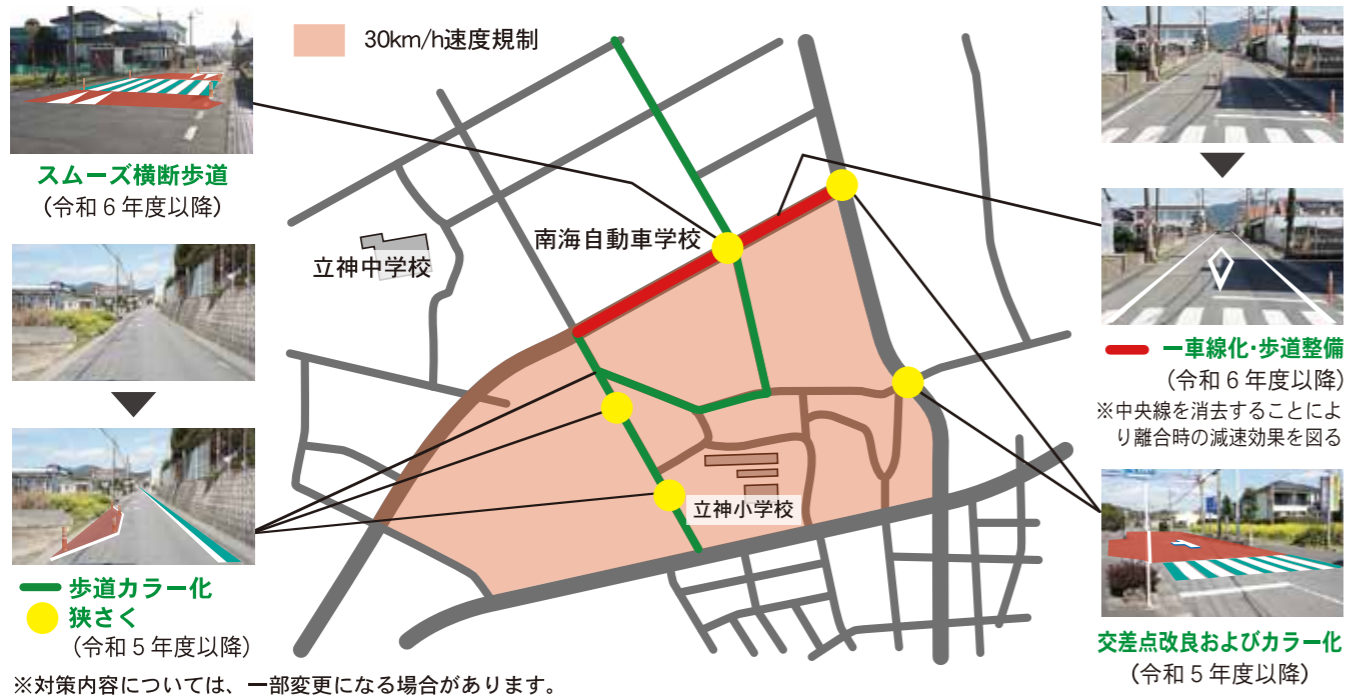
生活道路における人優先の安全・安心な通行空間の整備の更なる推進を図るため、最高速度時速30km/hの区域規制（ゾーン30）に加えて、交通実態に応じて区域内における大型通行禁止、一方通行等の各種交通規制を実施するとともに、ハンパやスムーズ横断歩道などの物理的デバイスを適切に組み合わせることで交通安全の向上を図る区域を「ゾーン30プラス」といいます。



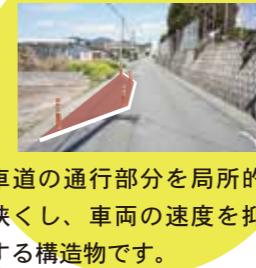
## 枕崎小学校周辺の対策内容



## 立神小学校周辺の対策内容



狭さく



道路管理者による  
物理的デバイス設置

スムーズ横断歩道

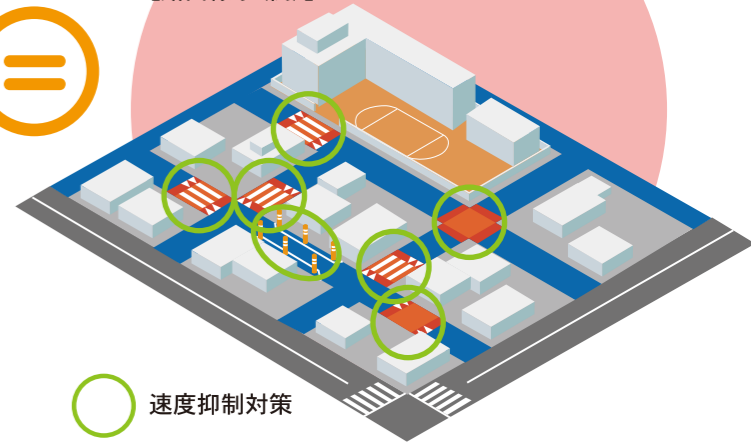


ハンパ



新たな連携対策  
ゾーン30プラス

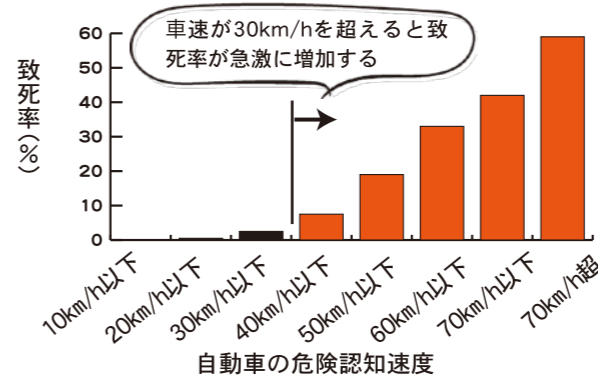
【看板(例)】  
【路面標示(例)】



## ■なぜ時速30km/h以下？

財団法人交通事故総合分析センターの調査結果から、歩行者と車両の交通事故では、車両の速度が時速30km/hを超えると致死率が急激に高くなるということが分かっています。ゾーン30プラスに指定した地域は、登下校の様子や交通量のデータをもとに警察と市が協議し、道路通行が危険だと判断した地域になります。

【自動車による歩行者死傷事故における致死率】



## ■安全運転を心がけましょう

子どもたちの登下校の時間帯は、大人も出勤や帰宅のため、気持ちが焦りがちです。時間に余裕を持ち、交通规则を守り、車を運転する人も歩行者も、お互いに安心・安全に道路を利用するよう心がけましょう。

運転手さん、30キロ以下で走ってね！



TEL 761217  
問合せ 建設課土木係